

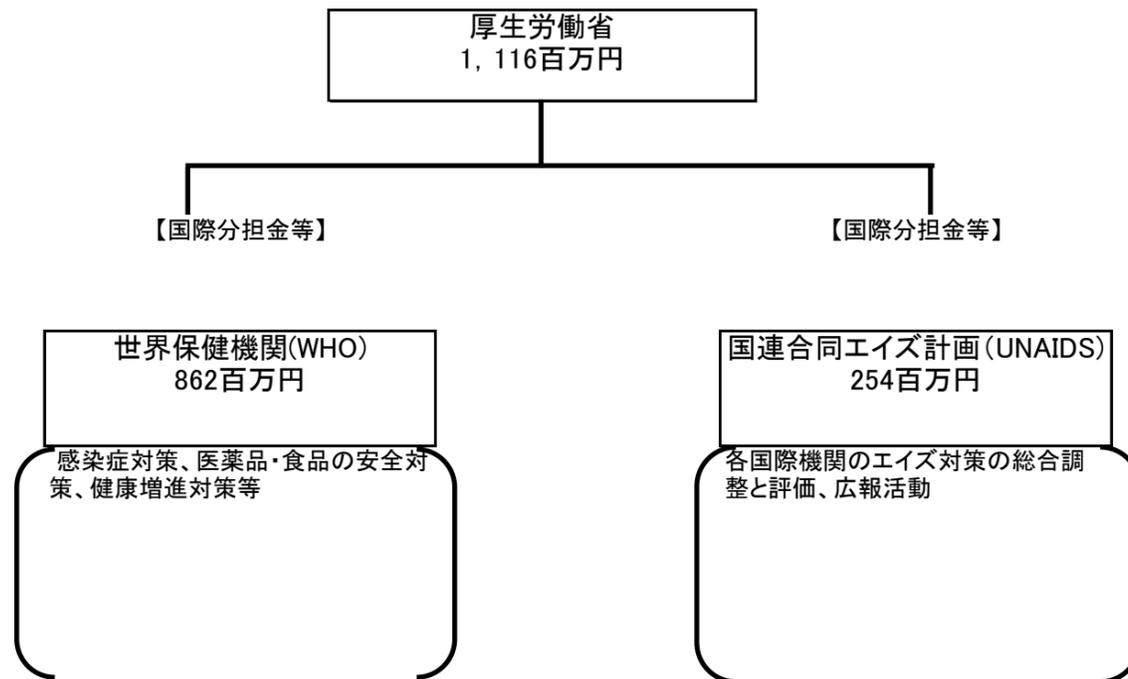
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	世界保健機関等拠出金事業		担当部局	大臣官房		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和48年度		担当課室	国際課		堀江 裕		
会計区分	一般会計		政策・施策名	施策目標X-1-1 国際機関の活動への参画・協力や海外広報を通じて、国際社会に貢献すること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	世界保健機関憲章第57条(WHO) 国際連合経済社会理事会決議1994/24第12条		関係する計画、通知等	—				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	世界保健機関(WHO)及び国際合同エイズ計画(UNAIDS。WHO等の国連11機関が参加する調整プログラム)を通じ、感染症対策やエイズ対策などの国際保健分野における諸課題への取組を強化することを目的に、世界保健機関(WHO)及び国連合同エイズ計画に対する拠出を行うことにより、国際協力事業を推進する。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	新型インフルエンザ、HIV等の感染症対策事業、国連ミレニアム開発目標(MDGs)の達成に向けてより一層の取組が必要な母子保健事業、保健従事者の育成も含めた保健システム強化事業、産業保健事業、食品安全・医療安全事業などに対する拠出を行い、国際保健分野における取組の強化に努めている。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	1,366	1,334	1,116	886	890	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	1,366	1,334	1,116	886	890		
	執行額	1,366	1,334	1,116				
執行率(%)	100	100	100					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)	
	主な流行性疾患への備えと対応のために、国家準備計画と標準的作業手順が設置された国の数		成果実績	国数	141	158	集計中	185
			達成度	%	91	96	集計中	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	総会及び執行理事会において事業活動や運営のための意思決定を行っており、総会及び執行理事会の決議数を活動実績とする。		活動実績(当初見込み)	総会及び執行理事会の決議数	17	1	16	27
					(—)	(—)	(—)	(—)
単位当たりコスト	0.23ドル(単純平均による世界の人口一人あたりのWHO拠出金)		算出根拠	1,636,552,815米ドル(2012年WHO拠出金総額)÷70億5210万人(2012年世界の人口総数)=0.23ドル				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	拠出金	886	890	事業の見直し・重点化による増				
				「新しい日本のための優先課題推進枠」172百万円				
	計	886	890					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国 必 要 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国際機関を通じた国際貢献であり、国民のニーズがあり、国費を投入しなければ達成できないと考えられる。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国際機関への資金拠出は、主に国が実施すべき事業であると考えられる。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	国際機関を通じた国際貢献であり、優先度が高いと考えられる。		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	支出にあたり、拠出先と使途等について協議を行い、限定している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	国際保健分野における専門機関への支出であり、成果の達成度も向上しているため、実効性が高いと考えられる。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	本事業による成果物は、国際保健分野における諸問題の解決に広く活用されている。		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	<p>主な流行性疾患への対応をしている国の数(アウトカム)は平成23年度において96%の達成率にあり、世界保健機関(WHO)などを通じ、感染症対策やエイズ対策などの国際保健分野における諸課題への取組強化に向けて、我が国は大きな役割を果たしていると考えられる。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事 業 内 容 の 改 善	<p>本事業は、必要性や執行の観点からも概ね妥当であるが、優先度等を検討のうえ、拠出先機関とも調整を図りながら対象事業の限定・重点化を図るなど効率的な執行に努め、予算額に反映すること。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮 減	<p>既存事業について、活動実績や事業効果を検証し、マラリア対策及び産業保健対策事業などの見直しを行ったことにより、予算額の縮減を図った(▲169百万円)。一方、世界的に喫緊な課題として、国際社会から日本の知見に期待が寄せられる新興・再興感染症対策(新型インフルエンザ対策を含む)事業等に重点化を図るなど、拠出事業内容の効率化を図った。</p>					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0555	平成23年	0502	平成24年	0444

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 世界保健機関(WHO)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	世界保健機関の実施する感染症対策事業等に対する拠出	862			
計		862	計		0
B. 国連合同エイズ計画(UNAIDS)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	国連合同エイズ計画の実施するエイズ対策に対する拠出	254			
計		254	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	世界保健機関(WHO)	世界保健機関の実施する感染症対策事業等に対する拠出である。	862		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国連合同エイズ計画(UNAIDS)	国連合同エイズ計画の実施するエイズ対策に対する拠出である。	254		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					